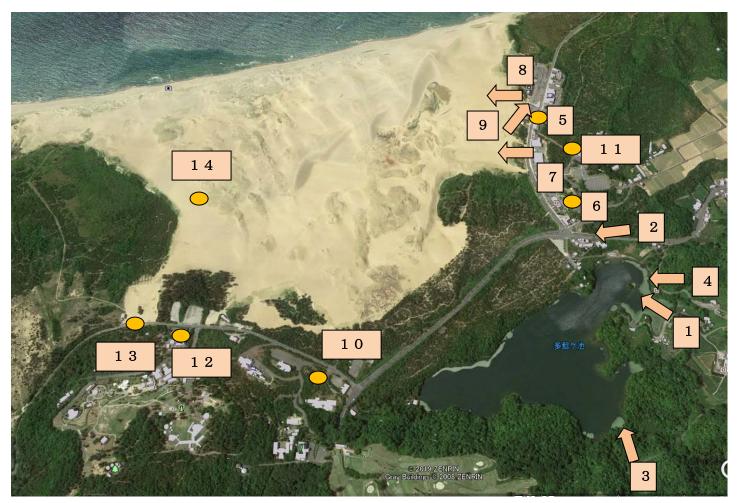
鳥取砂丘の観光地の歴史

縄文時代 弥生時代 古墳時代 飛鳥時代 奈良時代 平安時代 鎌倉時代 室町時代 江戸時代 明治時代 大正・明治・昭和時代

砂丘観光地の新旧比較



年 代	鳥取砂丘の出来事
明治29年・1897年	陸軍歩兵四十連隊の演習地で利用
昭和30年・1955年	天然記念物指定
	山陰海岸国定公園に指定
昭和38年・1963年	山陰海岸国立公園に昇格
平成20年・2008年	山陰海岸ジオパークが日本ジオパークに指定
	多鯰ケ池がジオサイトに指定
平成22年・2010年	山陰海岸ジオパークが世界ジオパークに指定
	多鯰ケ池がジオサイトに指定

不毛であった「鳥取砂丘」は、何もしないで現在のような日本でも有名な観光地になった訳ではない。 鳥取県、鳥取市、福部町の行政指導や地域住民の手で現在の起伏に富んだ観光地へと変貌して来た。

昔の古写真を見ながらその変貌ぶりを紹介する。

古写真

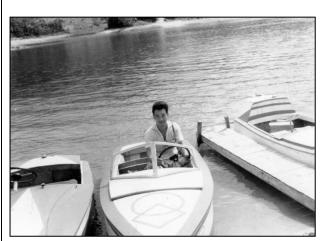
最近写真

◎昭和35年(1960年)貸付モーターボートや手漕ぎボートで賑わう多い鯰ケ池



◎近年は「カヤック」「サップ」などのアクティビティで賑わう







鳥居をくぐり左に折れると現在の弁天宮にお参りしていた。

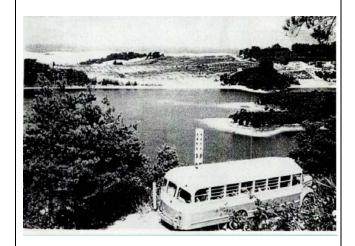
◎昭和40年に砂丘トンネルから直接砂丘への道路が開通したため砂丘へのアクセスに利用されなくなった。



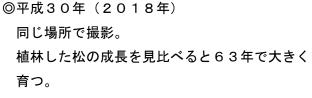


3 ◎昭和30年(1955年)

旧国道9号線の切り割部から多鯰ケ池、砂丘、 日本海を望む。



◎昭和30年・(1955年)旧国道9号線の切り割部から多鯰ケ池、砂丘、 日本海を望む。





4 ◎昭和4年・(1955年) 旧国道9号線の切り割部から多鯰ケ池、砂丘、 日本海を望む。



◎平成30年(2018年)同じ場所で撮影。 植林した松の成長を見比べると63年で大きく育つ。



5 ◎昭和45年(1970年)

所和45年(1970年)

福部村が「レストハウス」と「砂丘ガソリンンド」 の一角にあったが現在はない。 を砂丘会館前の駐車場に新築。



村営砂丘レストハウス

平成30年(2018年)

現在の砂丘入り口・砂丘ビジターセンターの駐車場 の一角にあったが現在はない。



6 ◎平成9年(1997年)

砂丘観光地の入り口辺りににレストラン「ミキ」がオープン。



◎平成24年(2012年)

鳥取市営で砂像の常設展示場「砂の美術館」を建設



7 ◎昭和36年(1961年)

昭和40年当時の砂丘の入り口は現在の階段入り口より200m程度手前の左側にあった。

馬やらくだ、キャタピラーバスで馬の背まで案内 していた。



8 ◎昭和40年(1965年)

砂丘リフトが昭和38年(1963年)に完成 以降、道路や駐車場が整備され、砂丘観光の入 り口は現在の場所となるが、当時は緩やかな坂 の入り口であった。

駐車場と砂丘入り口までの高低差3m。



◎平成30年(2018年)

同じ場所で撮影。

駐車場と砂丘入り口までの高低差12mで「馬の背」より8m位たかくなった。

海側から風で砂が押し寄せ高くなったため階段 で登る。



9 ◎昭和40年代(1965年~)

当時の道路は未舗装で幅も狭い。

手前の建物は「らくだ屋」さんと奥の建物が「砂 丘会館」。



◎現在の状況

道路は拡張された舗装道路で海岸線を通り、岩戸地区まで通じ駟馳山のふもとで旧9号線へ。 中世の時代から鉄道が開通した明治13年まで利用された道である。



10 ◎昭和40年代(1965年~)

国民宿舎「砂丘荘」とその上側に「鳥取青年の家」が建っていた。



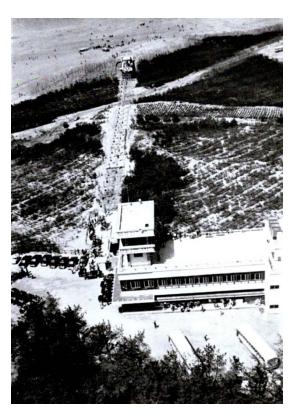
◎現在の跡地の状況

道路だけが当時の面影を残す。



11 ◎昭和38年(1963年)

砂丘観光リフトが完成。昭和38年(1963年)砂丘センターから砂丘入り口までの長さ2 20m



◎平成31年(2019年)

リフトの場所は変わらないが、周辺の植林された 松が56年間で大きく成長。



12 ◎昭和10年代(1935年~)

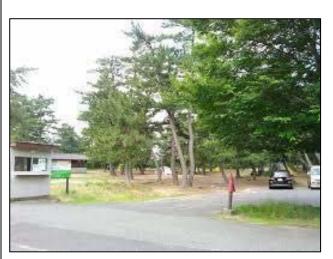
浜坂のこどもの国近く「柳茶屋キャンプ場」付近にあった柳茶屋。



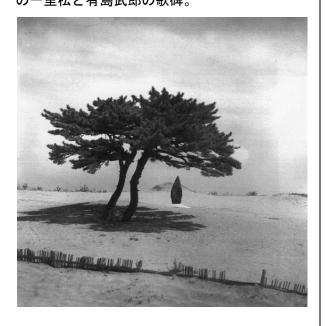
昭和20年代には押し寄せる砂に埋まり、営業 を停止。

現在の柳茶屋付近

鳥取市営のキャンプ場として一般に無料開放



13 ◎昭和10年代(1935年~) 浜坂のこどもの国近くの昔の但馬街道(浜街道) の一里松と有島武郎の歌碑。



◎平成30年(2018年)同じ場所で撮影。有島武郎の歌碑は道路の近くに移設。





14 ◎明治29年(1896年)から昭和初期まで 日本陸軍歩兵40連隊の演習場として砂丘一帯 が利用された。

